

広報 すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

1/15
令和7年(2025年)
No.2396

地域×オーケストラ
その可能性に挑戦!

日本を代表するオーケストラの一つ「日本フィルハーモニー交響楽団」。昨年、区と友好提携を結んでから30周年を迎えました。杉並公会堂を本拠地に、区立施設への出張コンサートなど多くの活動を区と共にやってきた同団。今回は、区と楽団をつなぎ提携事業を支えている、運営メンバー3名に話を伺いました。



特集

人
すぎなみピト

日本フィルハーモニー交響楽団を
支える人々

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課



「広報すぎなみ」は月2回(1・15日)発行。新聞折り込みでの配布のほか、区施設・区内各駅などの広報スタンドに置いています。入手が困難な方には個別配布をしています。ご希望の方は、電話・ファクス・Eメール・申し込みフォームからお申し込みください。

詳細は、区ホームページ(右2次元コード)をご覧ください。



杉並は家族のような温かさに満ちた、楽団のホームグラウンド



後藤 明彦

プロフィール：後藤明彦（ごとう・ともし） 昭和60年に入団。ピオラ奏者として30年間活動した後、運営へ転身。同楽団で常務理事を務める。

す。区としては、当時杉並公会堂の建て替えが計画段階にあり、新しいホールにオーケストラが居てくれたらと考えていたようで、双方の希望が一致したこともあって友好提携を結ぶに至りました。自治体とオーケストラが明確に提携を結ぶのは前例がなく、とても珍しいことでした。

一区とはどのような活動をしているのですか？

別府：区内各所での室内楽公演が年25回ほど。杉並公会堂での公開リハーサルおよびコンサート、区役所などでのロビーコンサートがそれぞれ年に数回あり、毎年3月には「春休みオーケストラ探検」という0歳から入れるコンサートを開いています。そのほか、区立施設などで出張コンサートを行っています。また、提携事業ではありませんが、区のふるさと納税寄付金を活用し、東日本大震災の復興支援活動として被災地でコンサート・ワークショップを行っています。深い関係を築けていたからこそ実現できた取り組みだと思います。

友好提携の好影響が演奏の質や社会活動の底上げに

一友好提携は楽団にどのような影響を与えていると感じますか？

後藤：オーケストラの音づくりに非常に良い影響を与えていることは明らかです。杉並公会堂という素晴らしいホールを練習場所として確保できたことで、演奏の質が確実に向上しました。あらゆる指揮者た



練習場所の確保がきっかけとなり拠点を杉並へ

一区との提携事業における皆さんの役割・担当を教えてください。

後藤：昭和60年に入団し、ピオラ奏者として30年間活動した後、運営に転身してオーケストラ全体の統括に関わりながら、令和5年より社会活動に関わる部署「音楽の森」の責任者を務めています。

別府：私は平成27年の入団当初から「音楽の森」に携わり、室内楽を区内の小中学校や福祉施設などへ届ける活動を担当していました。以降、区とコミュニケーションを図りながら「区民が必要としていることは何か？」を一緒にじっくりと考え、いろいろな企画を立ち上げてきました。例えば、区制施行90周年のときに杉並区の曲「交響詩《鼓吹の桜》」を作り上げたこともその一つです。

杉山：私は令和4年に入団し、「音楽の森」の活動に携わっています。令和6年11月に行った、区と日本フィルの友好提携30周年記念コンサートの企画制作も担当しました。主催者や会場・奏者との架け橋的な役割を果たすのが私の仕事で、演奏会の趣旨から1日のタイムスケジュール・曲目などあらゆることを話し合い、奏者との調整を行っています。

一区と日本フィルが友好提携に至ったのはなぜだったのですか？

後藤：日本のオーケストラは拠点となるホールを持っていないため、練習場所の確保が常に課題としてあります。日本フィルも練習場所の不足という問題を抱えていた中で、杉並公会堂を練習場所として提供してもらえるという話が区から上がってきたのが最初のきっかけで

ちが「ここで練習できるのはとても幸せなことだ」と言います。同時に、日本フィルが昔から力を入れてきた社会活動も、区との提携を通してより深く充実したものになりました。この経験は、他の地域で活動するときにも生かされています。オーケストラが現代社会の中でどうあるべきか、日本フィルはそこを先取りして活動してきたと言えるでしょう。

一区内での活動で特に印象深いエピソードがあれば教えてください。

別府：さまざまありますが、やはりコロナ禍抜きには語れません。令和2年2月末、日本フィルは予定していた全ての公演の中止を決めました。その後、感染拡大で先が見えない中、「コロナ禍で何ができるのか？」を考え続け、区と杉並公会堂と共に室内楽コンサートの再開を試みました。1000席以上もある杉並公会堂に数十名の観客を招き、全員がマスクを付けての公演再開。あの日、生の拍手に感動した気持ちは今でも忘れられません。皆さんとの信頼関係なしには踏み出せなかった、コロナ禍での第一歩でした。

後藤：何カ月もオーケストラが演奏しないというのは前代未聞。それは奏者にとってはとても怖いことなんです。そこをできる限り早い段階で、ホームグラウンドである杉並の温かさの中で再開できたのは、本当に幸せな環境だったと改めて思います。

一区民との交流を、奏者の皆さんはどう受け止めていると感じますか？

杉山：それは絶対にプラスの経験になっていると思います。例えば小中学校で室内楽公演を行うと、子どもたちのアンコールの掛け声や、楽器を近くで見たときの驚き・感動といった反応の一つ一つが、本当に素直で素晴らしいのです。そういった反応をダイレクトに肌で感じると、確実に奏者も演奏に熱が入ります。

別府：大きなホールでの演奏とは、また気持ちも違いますよね。目の前の区民の皆さんにいい音楽を届けるんだというリアルな体験は、奏者の心の支えになっているのではないのでしょうか。



木山 まどか

プロフィール：杉山まどか（すぎやま・まどか） 令和4年に入団。「音楽の森」部署にて、室内楽アウトリーチ活動、区との連携における連絡・調整などの役割を担う。

多くの可能性に満ちた「地域×オーケストラ」のかたち

一友好提携を結んで30年。提携の未来をどのように思い描いていますか？

別府：提携事業を通して、子どもから大人まで、もっと多くの区民の皆さんに日本フィルのことを知ってもらいたい。「自分たちのオーケストラ」だと思ってもらいたい。「杉並区には日本フィルがあるよね」と、そんな言葉が区民の皆さんから自然に出てくる未来を目指して、今後も日本フィルと区の双方が努力を重ねながら、さらに良い関係を築いていきたいと思います。

後藤：今、学校では少子化による部活動存続の課題などを抱えていて、子どもたちが楽器に触れる機会が減っています。それは大きな問題だと私は思っています。次世代を担う子どもたちに音楽を通して大切なものを伝え、それらを育てていけるような活動に、ぜひ区と一緒に尽力していければと考えています。

杉山：杉並の子どもたちが大人になったとき、日本フィルのことを思い出して「ちょっと聴きに行ってみようかな」とコンサートに訪れてもらえる。そんな存在になれるように、地道に活動を続けていきたいです。

別府：これまで区と共にたくさんの企画を実行してきました。中には、前例のないような新しい挑戦もたくさんありました。そんな「地域×オーケストラ」の取り組みの成果を私たちだけで終わらせるのではなく、ぜひ全国に広げていきたいです。音楽団体がまちに居ることが、こんなにも面白くて可能性に満ちているということ、いろいろな地域に知ってもらい、同じような取り組みが波及していくことに期待しています。

別府-樹



プロフィール：別府一樹（べつぷ・かずき） 平成27年に入団。区との提携事業を含む社会活動を担う「音楽の森」部署を経て、現在は理事長室長、制作部アドバイザー、「東北の夢プロジェクトリーダー」を務める。

日本フィル 春休みオーケストラ探検

みる・きく・さわる

オーケストラ!

音楽とお話合わせたコンサートのほか、スタンブラリーや楽員によるリレーコンサートなどが体験できる親子向けのプログラムです。詳細は、区ホームページ（右2次元コード）をご覧ください。

日時 3月29日(土)午前11時50分・午後3時50分 (各50分)

場所 杉並公会堂 (上获1-23-15)

出演=和田一樹(指揮)、石井あみ(お話) ▶曲名=ビゼー「歌劇『カルメン』より『闘牛士の行進』」、アンダーソン「シンコペイテッド・クロック」、エルガー「『威風堂々』第1番」ほか 各3000円。小学生以下各2500円(3歳以下膝上無料) ☎電話で、日本フィル・サービスセンター☎5378-5911 (月～金曜日午前10時～午後5時)。または、日本フィルeチケット♪(区ホームページ同催し案内にリンクあり)から申し込み

YouTubeで配信!

すぎなみピット MOVIE

すぎなみピット「日本フィルハーモニー交響楽団を支える人々」のインタビュー動画を、右2次元コードからご覧いただけます。

杉並区公式チャンネル

善福寺川「水鳥の棲む水辺」 創出事業シンポジウム

「グリーンインフラと歩む善福寺川の未来」をテーマにした講演、小学校で実際に取り組んだグリーンインフラの活動報告などを行います。

——問い合わせは、土木計画課施設整備グループ河川橋梁担当へ。

日時 1月25日(土) 午後1時～3時50分

場所 勤労福祉会館(桃井4-3-2)

定 300名程度(先着順) 他 車での来場不可



■ 講演

グリーンインフラってなに
師 熊本県立大学特別教授・島谷幸宏

■ 活動報告

学校で取り組んだグリーンインフラ
師 井荻小学校児童
自然から受け取ったもの
師 川ガキ復活講座受講生

■ パネルディスカッション

善福寺川流域に棲む生き物語!

内 進行=熊本県立大学特別教授・島谷幸宏 ▶ パネリスト=東京大学総合研究博物館研究事業協力者・須田真一、NPO法人雨水市民の会理事・笹川みちる、善福寺川を里川にカエル会・渡辺博重、NPO法人Green Connection TOKYO代表理事・佐藤留美

次世代育成基金活用事業

チャレンジ・アスリートの 参加者募集



トップアスリートとの楽しいスポーツ体験を通じて、夢に向かってチャレンジする子どもたちを応援します。

——問い合わせは、スポーツ振興課事業係へ。

日時 2月24日(休) ①午前9時20分～午後0時20分
②1時30分～4時30分

場所 TAC杉並区上井草スポーツセンター(上井草3-34-1)

内 師 オリンピック種目体験「サッカー」=小林弥生、原菜摘子 ▶ パラリンピック種目体験「パラバドミントン」=山崎悠麻、島田務 区 区内在住・在学の①小学1～3年生②小学4年生～中学生 定 各30名(抽選) 申 申し込みフォーム(右2次元コード)から、1月29日までに申し込み 他 上履き持参



スポーツをもっと身近に

ユニバーサルタイムの実施

障害のある方のスポーツ・運動のきっかけづくりの場として、さまざまなプログラムを実施しています。詳細は、区ホームページ(右下2次元コード)をご覧ください。

——問い合わせは、スポーツ振興課事業係へ。

時 ①3月5日(水)午後3時30分～5時30分 ②15日(土)午後2時～4時 場 ①荻窪体育館(荻窪3-47-2) ②TAC杉並区上井草スポーツセンター(上井草3-34-1) 内 ウォーキング、ボール種目、軽い運動ほか 対 障害のある方(介助が必要な方は介助者同伴) 他 ①上履き持参



①JR・東京メトロ丸ノ内線荻窪駅②西武新宿線上井草駅などからの誘導サポーターを希望の方は、電話・Eメール(12面記入例)で、①3月3日②12日までにスポーツ振興課 sp-sinkoka@city.suginami.lg.jp

南伊豆町観光物産展・ 写真展の開催



区の交流自治体である静岡県南伊豆町による物産展・写真展を開催します。

——問い合わせは、南伊豆町商工観光課観光推進係 ☎0558-62-6300へ。

● 物産展

日時 1月23日(木)午前10時～午後2時 場所 区役所中杉通り側入り口前 他 伊勢海老のみそ汁試飲サービスあり(午前11時から)。売り切れ次第終了。マイバッグ持参

● 写真展「みなみの桜と菜の花まつり」

日時 1月20日(月)～24日(金)午前8時30分～午後5時(24日は4時まで) 場所 区役所1階ロビー・2階区民ギャラリー



Check!

「広報すぎなみ」2月1日号を 区内全世帯に配布します

※2月1日号の新聞折り込みはありません。2月15日号からは通常どおり新聞折り込みで配布します。

1月30日(木)～2月1日(土)に、区の委託事業者の配布員(区発行身分証明書を携帯)がポストに直接投函します。

内 広報課(広報紙の汚損や2月1日を過ぎても届かないなど配布に関しては、全戸配布コールセンター ☎5389-0787(2月13日までの午前9時～午後5時。8日・9日を除く)) 他 委託事業者=フットワークス